

【南陽市】の部活動改革の取組み

自治体の現状と課題

本市中学校における生徒数の減少は著しく、希望する部活動がない学校や、部員不足で合同チームで大会参加している部が増加傾向にある。

本市では、令和8年度以降、休日活動の選択肢の一つとして活動環境の整備に取り組んでいる。それは、部活動種目をそのまま移行するものではなく、生徒にできる限り多様な選択肢を提供することを目指している。多様な種目に取組める環境の確保や保護者による受益者負担への理解、指導者の質・量の確保等が課題となっている。現在は、事務局の設置等、運営上の工夫により、持続可能な運営体制を整えられるよう努めている。

地域クラブ活動等の概要

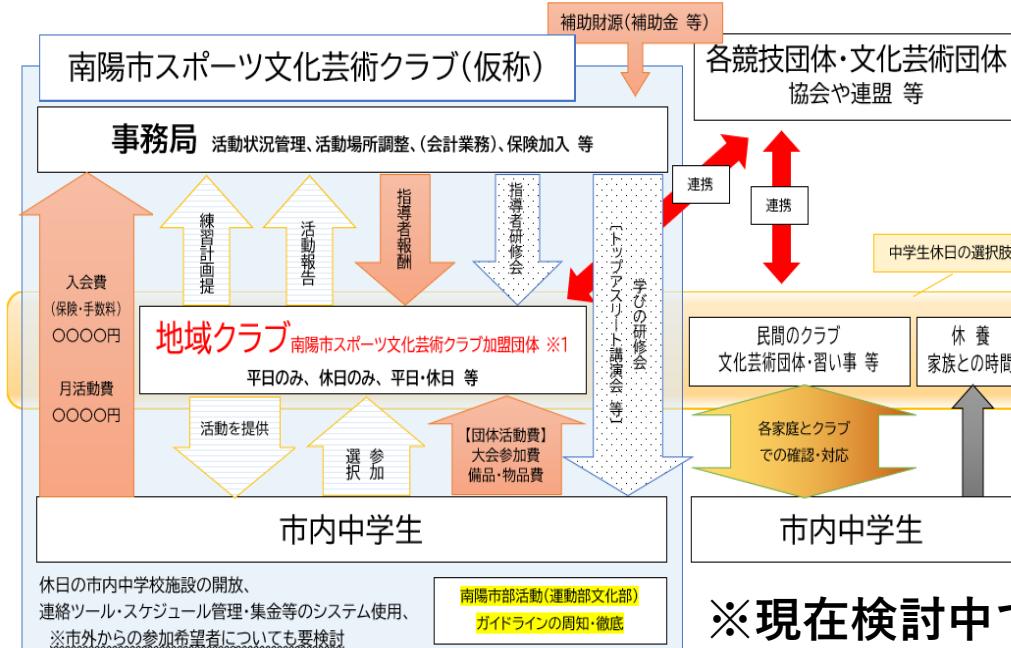
中学校数	3 校	全生徒数	749 人
域内の部活動数	38 部	実施した地域クラブ数	13 クラブ
全体の指導者数	約 60 人	全体の運営スタッフ数	2 人
主な運営団体	南陽市スポーツ協会（令和7年度事業委託）		
主な種目	軟式野球、サッカー、バレーボール、卓球、剣道、柔道 他		
平均的な活動回数	1～4回/月 休日のみの場合	年間平均 参加生徒実数	3年：70人/クラブ 2年：70人/クラブ 1年：70人/クラブ
参加会費	12,000円/年	主な活動場所	市内中学校 市民体育館 他

地域展開関連の取組・成果

地域クラブ体制整備事業の中で、クラブの運営に係るスタッフのうち、生徒への指導に係る指導者と謝金等の管理を行う事務員を分けて、地域クラブ全体の運営を試みた。

多くの地域クラブからは、指導者研修で生徒との関わりかたや自分の指導を振り返る機会となっていることについての評価や指導謝金がある事で、指導者の責任に対する自覚やモチベーションに繋がっているとの声を聞いている。

運営体制図・ロードマップ (自治体独自)



※現在検討中です

【南陽市】の部活動改革の取組み

活動の様子



指導者育成研修会①



指導者育成研修会②



トップアスリート講演会（R6年度）



部活動改革説明会